

工業「社会基盤工学」(選択科目)	単位数	2単位
	学科・学年	土木科・第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	産業や経済の基盤を支え、国民が豊かで、住みやすい社会生活を営める社会基盤を整備するための技術を理解する。また、自然災害の多い国土において災害を防ぎ、地球環境を保全しながら社会基盤を整備する土木事業を理解する。
使用教科書・副教材等	社会基盤工学 (実教出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲
1 学期	1 暮らしと社会基盤 (1) 社会基盤の整備と土木事業 (2) 国土計画と社会基盤の整備	4	・社会基盤整備の現状を理解し、環境、災害などを考えて進める土木事業の重要性とその役割を理解する。	中間
		5		
		6	・総合的な国土計画を理解し、土木技術の果たす役割を理解する。	期末
		7		
2 学期	2 交通・運輸 (1) 道路、鉄道、港湾 3 治水・利水・水環境 (1) 水と人のかかわり (2) 治水・利水	8	・道路や鉄道の施設について理解する。	中間
		9	・港湾、空港の施設・設備について理解する。	
		10		
		11	・土砂災害や洪水などによる災害のない治水事業や利水を理解する。また、自然に優しい水辺の環境整備について理解する。	期末
12				
3 学期	4 暮らしとまちづくり (1) エネルギーの整備 (2) 災害と防災 (3) 循環型社会の形成	1	・地球温暖化や環境破壊の問題を考えたエネルギーの整備について、また建設廃棄物のリサイクルの現状を理解し、今後の課題について学習する。	学年末
		2		

(2) 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	・学習活動へ積極的に参加しているか。 ・授業の内容に対して、関心を持ち意欲的に学習しているか。
思考・判断・表現	・安全で暮らしやすいまちづくりのために、社会基盤をどのように整備していくかを、総合的に判断できるか。
技 能	・社会基盤はわれわれの生活や産業にとって必要不可欠であることを自覚し、これからの整備の重要性を表現できるか。
知 識 ・ 理 解	・環境や景観に配慮しながら、適切な社会基盤の整備を計画し、安全で経済的な工事を進める知識を身に付けているか。
<ul style="list-style-type: none"> ・学習の状況は、上記の4つの観点で評価します。 ・各学期の成績は、以上の観点から評価し100点法で行います。 ・学年末の成績は、各学期の成績を総合的に判断し、5段階評価で行います。 	

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・授業中は必要に応じ、板書します。板書しなかったことも意欲的に、ノートにとってください。 ・演習プリント等はノートに貼り付けてください。 ・先生の話をよく聞き、積極的に挙手・発表をしてください。 ・定期考査前には授業で解いた問題をもう一度解くとよい結果につながります。
